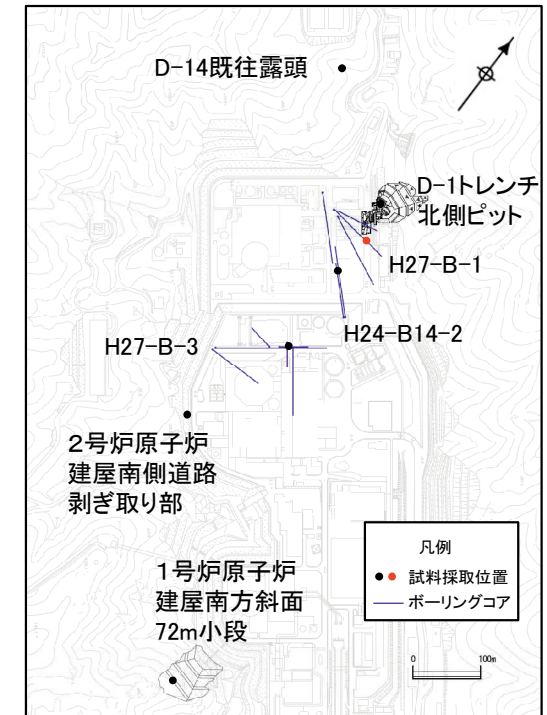
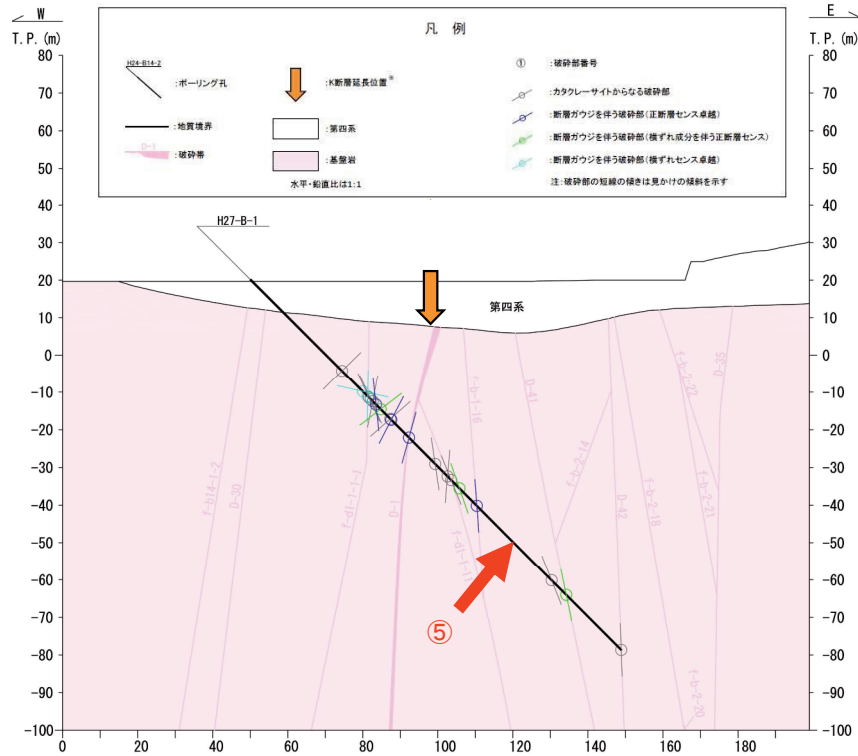


1.2.2 地質層序 (①粘土鉱物の成因の検討 長石類のEPMA分析)

試料採取位置 H27-B-1 103.40~103.44m

- H27-B-1 103.40~103.44mのボーリングコアから新鮮部の試料を採取しEPMA分析を行った。



試料採取位置図



コア写真拡大範囲

⑤ H27-B-1 103.40~103.44m の新鮮岩/変質区分1(花崗斑岩)

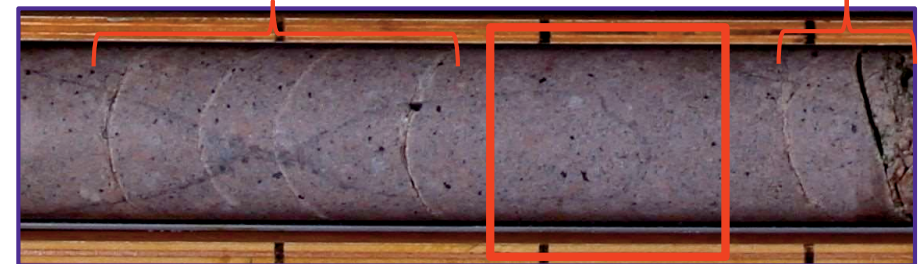
深度103.39~103.48m(赤枠範囲)

変質が見られないため変質区分1である。このうち深度103.40~103.44mで試料を採取した。

当該箇所は、柱状図の変質の記載では変質区分2となっている。コア長が10cm以下のため、柱状図の変質区分を分けていない。

割れ目沿いに白色化がみられる。
一部砂状部を挟在する。

割れ目沿いに
薄く砂状化がみられる。

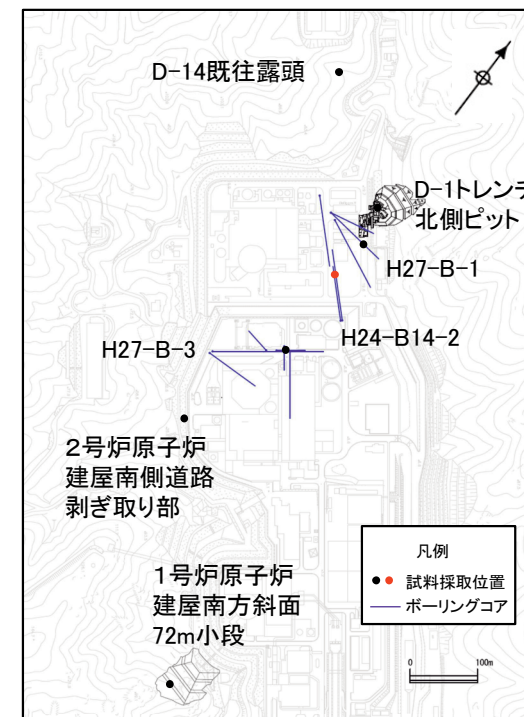
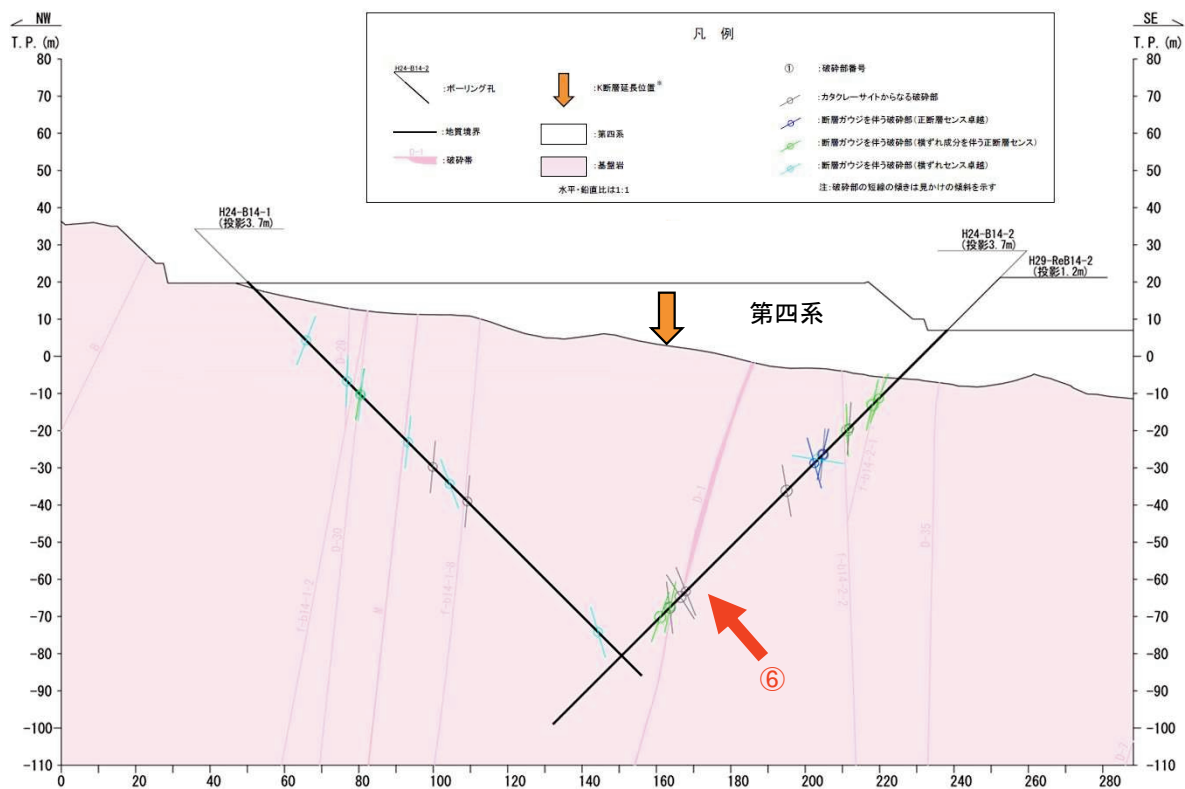


コア写真(拡大)

1.2.2 地質層序 (①粘土鉱物の成因の検討 長石類のEPMA分析)

試料採取位置 H24-B14-2 97.23~97.27m

- H24-B14-2 97.23~97.27mのボーリングコアから新鮮部の試料を採取しEPMA分析を行った。



試料採取位置図



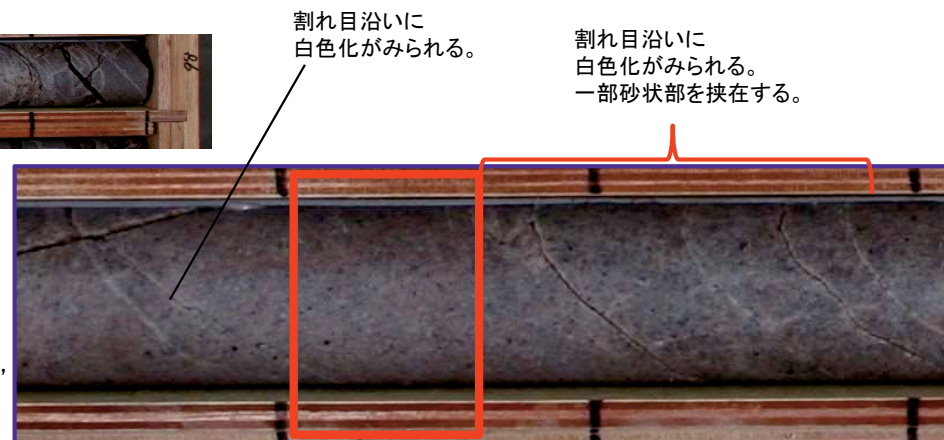
コア写真拡大範囲

⑥ H24-B14-2 97.23~97.27m の新鮮岩/変質区分1 (アプライト)

深度97.20~97.27m(赤枠範囲)

変質が見られないため変質区分1である。このうち深度97.23~97.27mで試料を採取した。当該箇所は、柱状図の変質の記載では変質区分2となっている。コア長が10cm以下のため、柱状図の変質区分を分けていない。

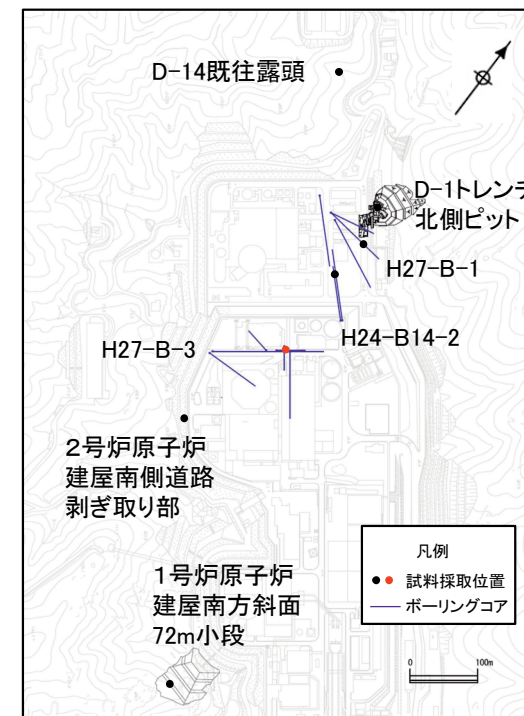
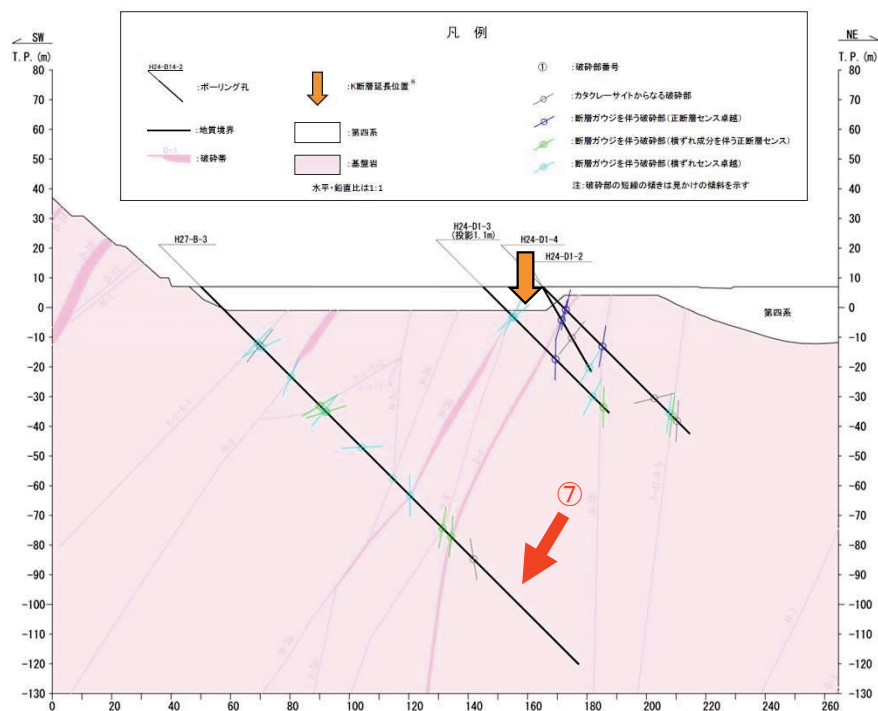
コア写真(拡大)



1.2.2 地質層序 (①粘土鉱物の成因の検討 長石類のEPMA分析)

試料採取位置 H27-B-3 147.36~147.40m

- H27-B-3 147.36~147.40mのボーリングコアから新鮮部の試料を採取しEPMA分析を行った。



試料採取位置図



コア写真拡大範囲

長石の白色化がみられる。

割れ目沿いがわずかに白色化している。

⑦ H27-B-3 147.36~147.40m の新鮮岩/変質区分1 (花崗斑岩)

深度147.31~147.40m(赤枠範囲)

変質が見られないため変質区分1である。このうち深度147.36~147.40mで試料を採取した。

当該箇所は、柱状図の変質の記載では変質区分2となっている。コア長が10cm以下のため、柱状図の変質区分を分けていない。

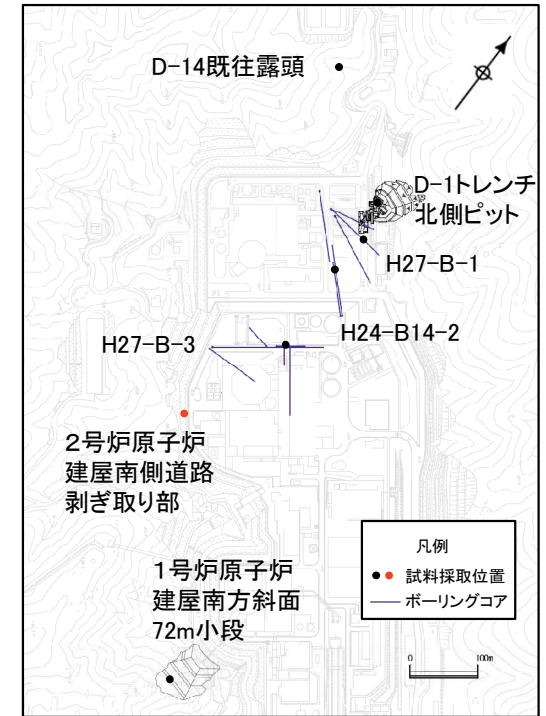
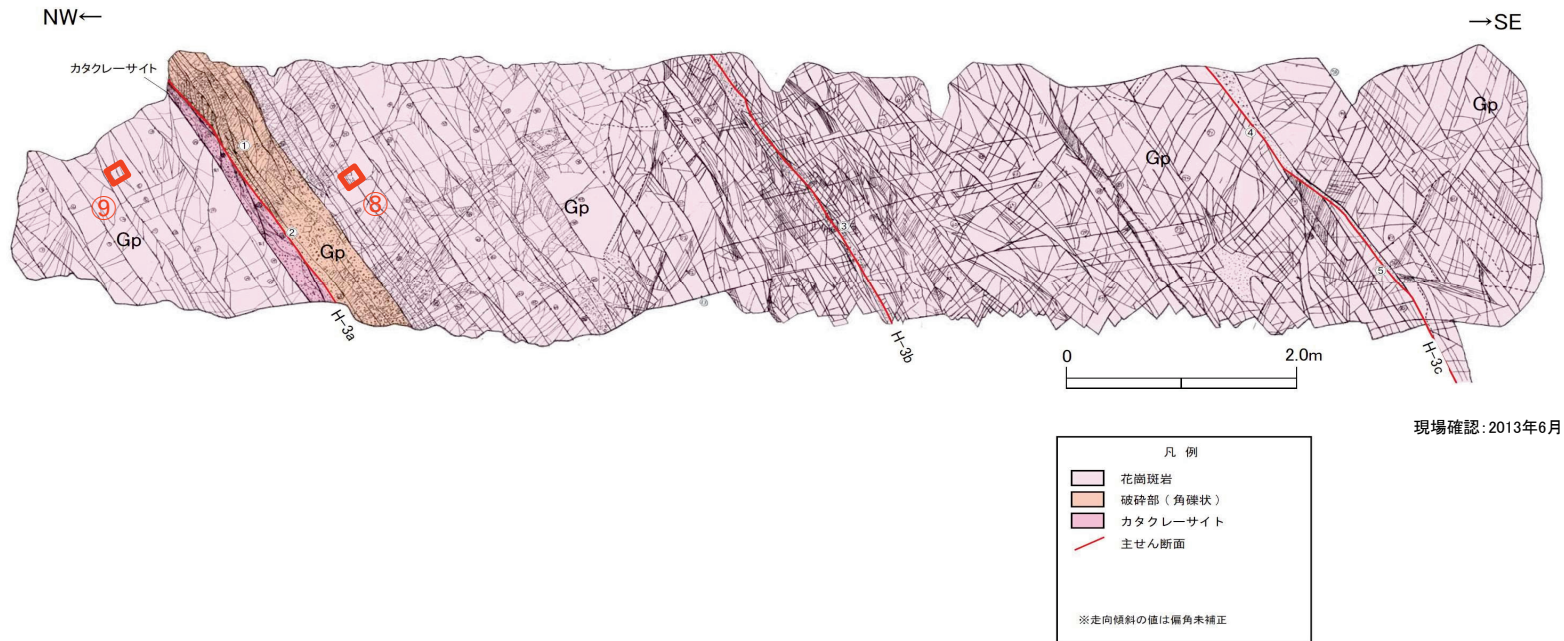


コア写真(拡大)

1.2.2 地質層序 (①粘土鉱物の成因の検討 長石類のEPMA分析)

試料採取位置 2号炉原子炉建屋南側道路剥ぎ取り部

- 2号炉原子炉建屋南側道路剥ぎ取り部のH-3a破碎帯付近で変質区分2の試料を採取しEPMA分析を行った。



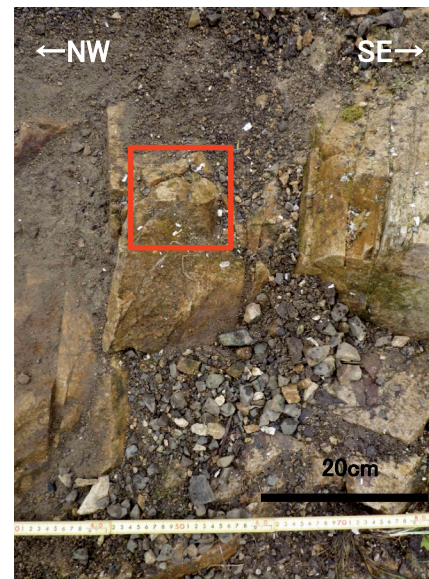
試料採取位置図



原岩組織は完全に残る。
長石に白色化がみられるが、50%以上は非変質である。
粘土細脈は見られない。
変質区分は2である。

赤枠は試料採取位置

写真1. ⑧H-3a破碎帯付近の試料採取位置(変質区分2)



原岩組織は完全に残る。
一部の長石に白色化が見られるが全体には非変質である。
粘土細脈は見られない。
変質区分は2である。

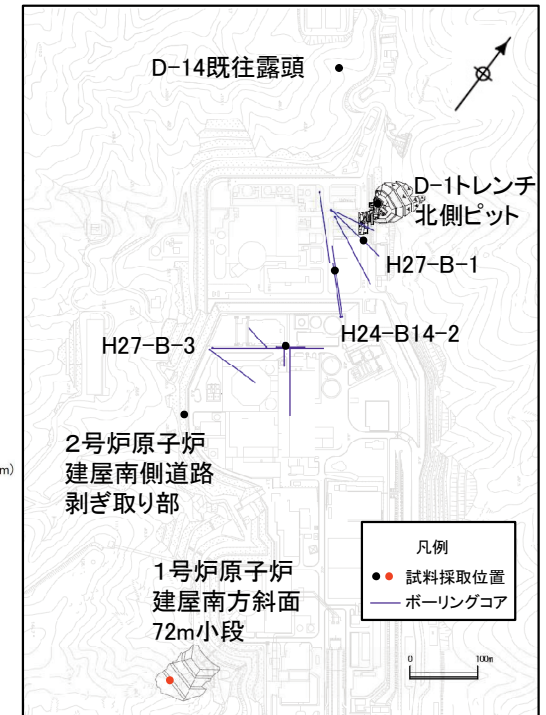
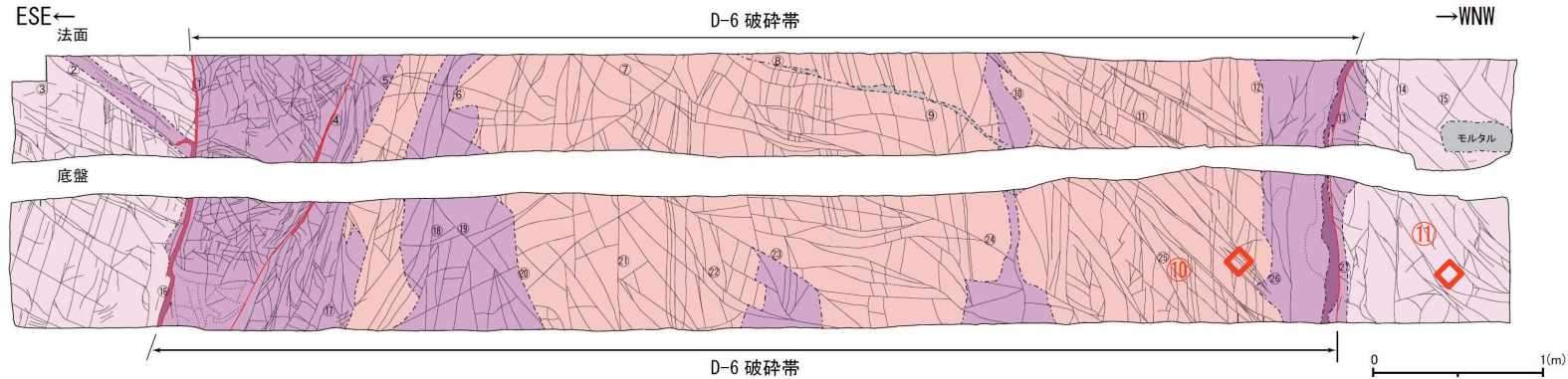
赤枠は試料採取位置

写真2. ⑨H-3a破碎帯付近の試料採取位置(変質区分2)

1.2.2 地質層序 (①粘土鉱物の成因の検討 長石類のEPMA分析)

試料採取位置 1号炉原子炉建屋南方斜面72m小段

- 1号炉原子炉建屋南方斜面72m小段のD-6破碎帯付近の変質区分3, 変質区分2で試料を採取しEPMA分析を行った。



試料採取位置図

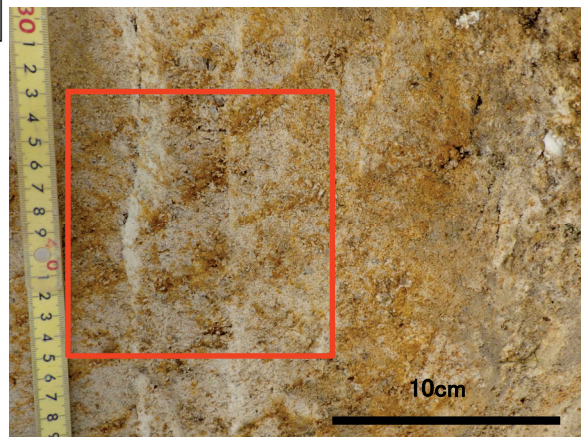


写真1. ⑩D-6破碎帯付近の試料採取位置(変質区分3)

幅数mm～数cm程度の白色の粘土細脈が網目状に分布する。原岩組織は残る。全体に軟質である。変質区分は3である。

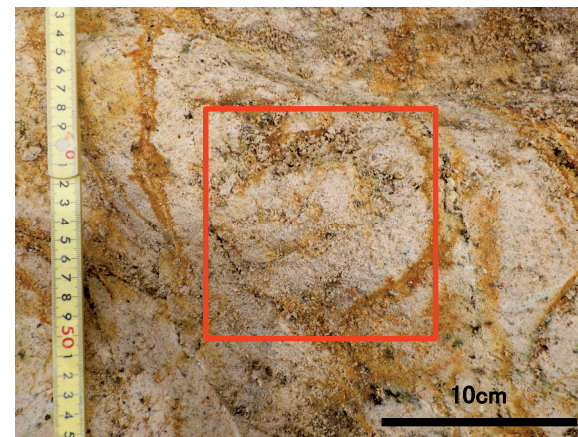


写真2. ⑪D-6破碎帯付近の試料採取位置(変質区分2)

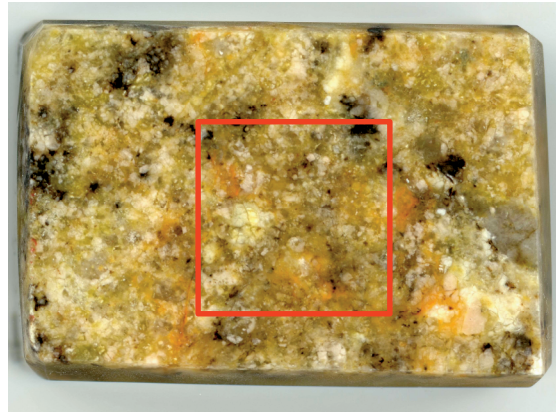
脱色が見られるが原岩組織は完全に残る。粘土細脈は見られない。変質区分は2である。

赤枠は試料採取位置

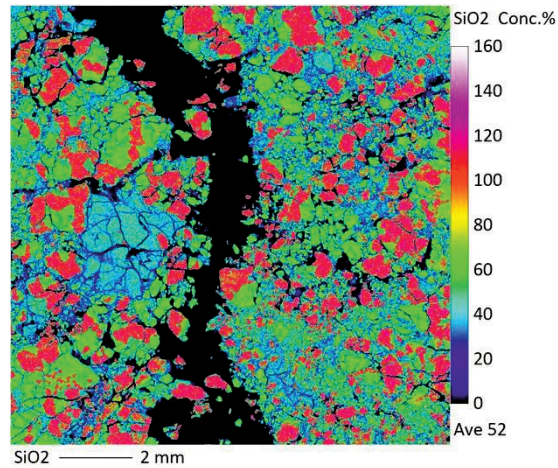
1.2.2 地質層序 (①粘土鉱物の成因の検討 長石類のEPMA分析)

EPMAマッピング ①D-14既往露頭 変質区分3

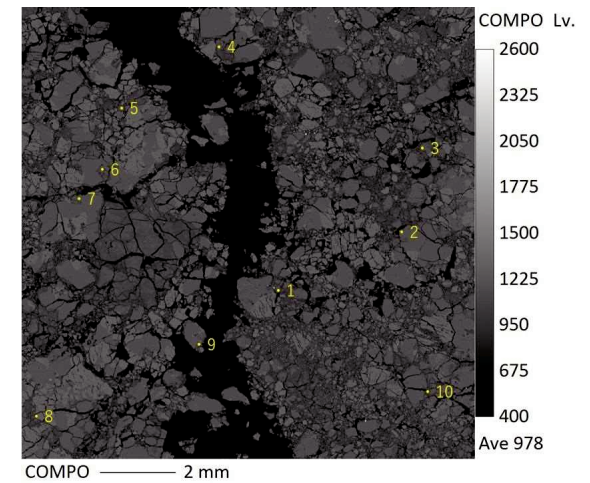
- Siに富む石英, Naに富む曹長石, Kに富むカリ長石に区分できる。
- マッピング範囲の斜長石で測定を行った。



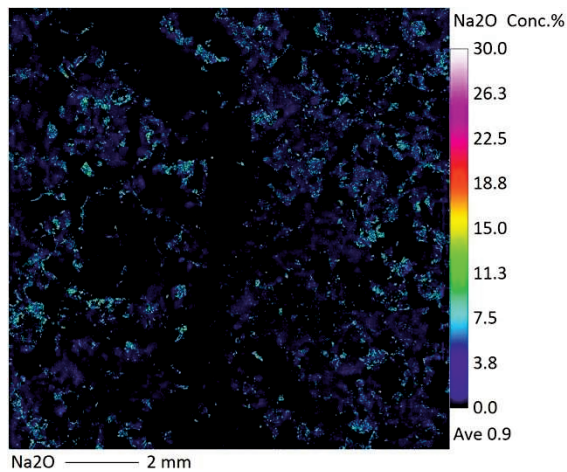
EPMAマッピング用試料
赤色枠内をマッピング



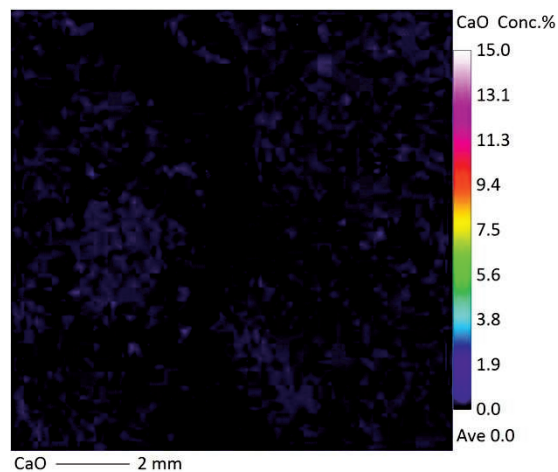
EPMAマッピング (Si)



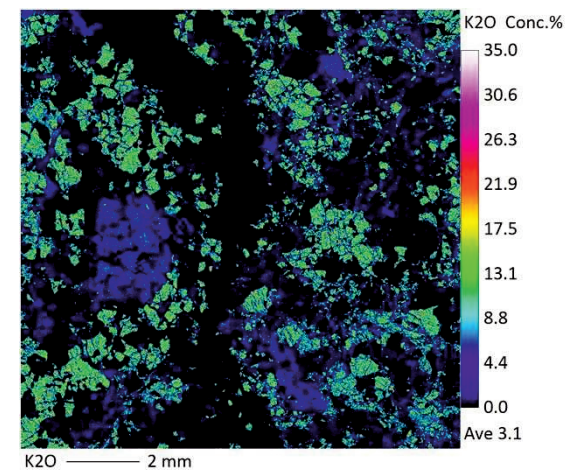
EPMAマッピング (COMPO像) 黄色
点は測定箇所



EPMAマッピング (Na)



EPMAマッピング (Ca)



EPMAマッピング (K)